

「6年・ダンゴムシはチーズ好き？」

先日実践したダンゴムシの食餌の実験を、別のクラスでもやってみました。今度は、少し自由度を上げて、自分たちでできる範囲で考えさせてみました。その中に非常に興味深い研究所(班)がありました。



「ダンゴムシは何が好き？」という実験

ある研究所(班)が考えた実験です。左上から、湿った土、片栗粉、砂、左下から食塩、落葉、白砂糖です。真ん中に 20 匹ほどのダンゴムシを置いて、どこを好むか調べようというわけです。

私は、ほとんどは「枯葉」に集まるだろうと思っていたのですが、驚いたことに半分は土、そして意外と人気があったのが白砂糖でした。

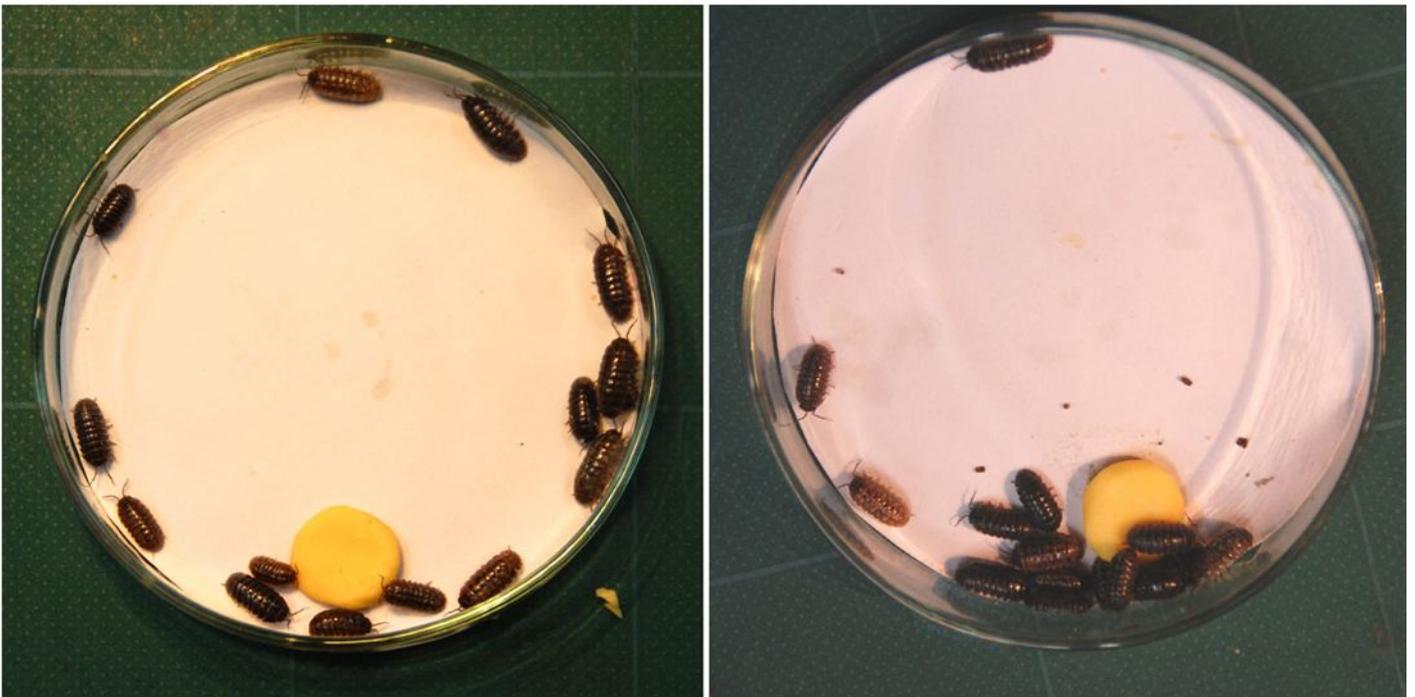


「砂糖を食べるダンゴムシ」

土と同じ触感なので集まっているだけと思ったら、確かに食べているようでした。

教科書では、ダンゴムシ（主として黒い「オカダンゴムシ」）の餌としてサクラの落葉を使っています。これを見ると、ダンゴムシは草食性（正確には植物食性）に思えます。私もそうだと思っていました。しかし、よくよく調べると、ダンゴムシは雑食性であることがわかります。落葉の山の中には、落葉以外にもさまざまなもの（たとえば他の虫の死骸）があります。ダンゴムシは意外といろいろなものを食べているのでしょう。

他校の理科の先生から、「ダンゴムシはチーズが好きらしい」という話を聞きました。私は半信半疑で、実験してみました。驚くことに、ダンゴムシはチーズのかけらに集まって、確かに食べていました。自然環境の中には、白砂糖もチーズもありません。どうしてこんな嗜好があるのか、全く不思議です。ダンゴムシの個体数（母集団数）を増やして、もっといろいろな種類の餌を置いて試したら、なかなか面白い研究になりそうです。



「チーズの実験」 左；実験開始直後 右；実験開始5分後
たちまちチーズのところに集合してしまいました。面白い習性ですね。

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）